

令和 6年 9月19日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービス どんちっち
施設種類：地域密着型通所介護 通所型サービス
会議開催日時：令和6年9月14日（土） 16時～17時
開催場所：デイサービス どんちっち
出席者

：6名
（人数）

利用者	0人	有識者等	1人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【出席者紹介】

【前回開催（3月）以降の活動状況の報告】

どんちっち便り、スナップショット集等を閲覧しながら、行事や日々の様子を報告。

【利用状況報告】

先月（8月）の利用実績の報告

【苦情、事故・ヒヤリハット報告】令和6年3月～令和6年8月

それぞれの事例の状況と対応、今後の対策を報告した。

・転倒・・・1件

片手介助しながら歩行中、後方から聞こえてくる声が気になり、急に振り返った拍子にバランスを崩し転倒しかかったため、職員が脇の下を支えるも崩れるように座り込まれた。外力が弱かったため幸い負傷はなかったが、認知症の方で転倒後に興奮状態になってしまい（周りの方々が心配する様子に対して）素早い対応が必要であった。

・服薬確認ミス・・・3件

2件は行事の準備中に起きている。食前薬の見守りが手薄になっており、いつの間にか服用されていたり、点眼薬（2種類）を本来間隔をあけて点眼するものを、時間をあけずにしていた。

もう1件は受診後に来所され、処方された薬を本人の近くに置いており（かばんの中）職員

が気付かない間に2包重複して飲んでいたことがあった。その後の体調の悪化はなかった。

・考察

転倒については予測が難しい認知症の方の行動を、ある程度予測しながら介助していく必要がある。

服薬の件については3件とも認知症の方であり、行事の準備等で忙しい時間帯に起きている。食前の服薬については、確実に服薬や点眼を見届けられるよう担当職員が責任をもって見ていくように徹底する。

今後行事の際には、事前に担当や流れの確認を行っておくこととする。

特に服薬の重複は内容によっては重篤になる危険性もあるため、薬の所在や管理についてはしっかりと把握するようにする。

【その他】

○毎年市内の中学校3年生の職場体験を受け入れていますが、今回初めて明誠高校福祉科1年生の実習を受け入れました。（介護の現場は楽しいと感じてもらえるようにしています）

○現在の職員構成（管理者以外）

常勤 介護職員2名（生活相談員、調理員含む）

非常勤 看護職員0名 介護職員5名（生活相談員含む）

【意見交換等】

○ご意見

（有識者より）

実習生を受け入れて、介護現場が少しでも楽しいところと感じてもらえたら嬉しいですね。

服薬に関しては、忘れて飲まないことよりも重複して服用するほうが怖いですね。

経営面で稼働率が比較的高いのに、赤字ベースなのはもっといろんな可能性を考えてみて（加算等）検討してみるといいでしょうね。

（地域住民）

そうですね、経営的に苦しいところも多いみたいですが、かなり余裕があるところもあるようですね。

（どんちっちより）

いろんな可能性をスタッフと検討し、より魅力のあるデイサービスにします。

現在取得していない加算で取得できるものがないか、土曜日営業は出来ないか等いろいろ考えてみます。